成　　績

（1）成績評価

① 授業科目の成績の評価は、秀、優、良、可、不可の５種とし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。

② 秀、優、良、可、不可の成績評価は、次の基準により行う。

秀　（S）　100 点満点法による 100 点から 90 点まで
優　（A）　100 点満点法による 89 点から 80 点まで
良　（B）　100 点満点法による 79 点から 70 点まで
可　（C）　100 点満点法による 69 点から 60 点まで
不可（D）　100 点満点法による 59 点以下

③ また、授業科目によっては、論文・報告書の提出、平素の修学状況を試験に代える場合や、試験の結果に加味する場合がある。

（2）成績の発表

① 成績は Campus Plan での公開によって発表する。

② 発表の日時については学内掲示により指示する。

③ 成績結果は、修得科目のすべてが記されており、次年度の履修計画を立てるための重要な資料となるため、取扱いには十分に注意すること。

④ 本学は定期的に保護者宛に成績、出席状況、単位修得状況等の学修の状況を通知し、本学学生はこれを了承するものとする。

（3）成績の問い合わせ

① 成績を確認し、不明点がある場合は所定の期間内に事務部学務課に問い合わせること。

② 成績の問い合わせ期間については、学内掲示にて通知する。

ＧＰＡ制度

(1)GPA

①GPAとは

「GPA(Grade Point Average)」とは、履修登録した科目毎の 5 段階評価(秀、優、良、可、不可)を 4.00 から 0 までの点数(GP:Grade Point)に置き換え、単位数を掛け、その総和(GPT:Grade Point Total)を履修登録した単位数の合計で割った、1 単位あたりの平均値(Average)のことを指す。

②ＧＰＡの成績評価基準

評価 (和)	評価 (英)	評価（総合得点）	評価基準	GP
秀	S	100～90 点	学修目標をほぼ完全に達成するか、または傑出した水準に達している	4.00
優	A	89～80 点	学修目標を相応に達成している	3.00
良	B	79～70 点	不十分な点があるが、学修目標を相応に達成している。	2.00
可	C	69～60 点	学修目標の最低限は満たしている	1.00
不可	D	59 点以下	不合格	0
認定	R	－	単位認定科目（ＧＰＡ対象外）	－

注)本学では、絶対評価＜到達度評価＞により成績評価を行う。
＜到達度評価＞とは、シラバス記載の「授業の到達目標」に対する達成度を得点化し、科目ごとの総合得点(0～100 点)により成績評価を行うこと。

③GPA計算式

$$GPA = \frac{[\,(\text{修得した単位数}) \times (\text{その科目で得たGP})\,] \text{ の総和}}{\text{履修登録した総単位数(不可科目を含む)}}$$

(2) f－GPA

① f－GPAとは

本学では、GPA値を用いて表彰等の一基準とすることがある。
この際、より厳正な評価方法として、通常のGPA制度とは異なる Functional－ GPA(以下f－GPA)制度を用いる場合がある。
f－GPA制度は、得点範囲に応じた評価に対応した点数を付与する通常のGPAに対し、100 点～60 点まですべての総合得点に対し、0.1 ポイント刻みでGPを付与し、その総和を履修登録した単位数の合計で割ることで算出されるGPAのことを指す。これにより、通常のGPAよりさらに厳正な成績評価が可能となる。

② f－GPAの成績評価基準

評価（和）	評価（英）	評価（総合得点）	通常の GP	f-GPA 用の GP
秀	S	100	4.00	4.50
		99		4.40
		｛		｛
		90		3.50
優	A	89	3.00	3.40
		88		3.30
		｛		｛
		80		2.50
良	B	79	2.00	2.40
		78		2.30
		｛		｛
		70		1.50
可	C	69	1.00	1.40
		68		1.30
		｛		｛
		60		0.50
不可	D	59	0	0
		｛		｛
		0		0

※GP ＜ 0.5 の場合は 0 とする。

③ f－GPA計算式

$$\text{f-GPA} = \frac{[\,(\text{修得した単位数}) \times (\text{その科目で得たf-GPA用のGP})\,] \text{ の総和}}{\text{履修登録した総単位数(不可科目を含む)}}$$

(3)GPA制度の適用範囲

GPA、f－GPAの活用については、下記のとおりとする。

① 学生が履修登録したすべての科目（再履修含む）

ア．総合教育科目 （すべての科目）

イ．専門教育科目 （必修、選択、演習、実習、実験、ゼミ等を含むすべての科目）

② 不可（不合格）の科目

ア．不可となった科目のGPAは算入・累積される。

イ． 再履修により合格となった場合にも、累積された不可は除外されない。
（履修登録した総単位数によりGPA値を算出するため不可は一切除外されない）

③ 再試験により修得した全ての科目

ア.再試験の成績評価は「可（60 点）」が上限となる。

(4)GPA制度の非適用範囲

①本学科目等履修生制度や他大学等で単位修得し、本学が「認定」した科目

②他大学との単位互換協定により修得し、本学が「認定」した科目

③TOEIC・英検により、本学が「認定」した科目

④本学が定めた「外国人のための日本語テスト」により、本学が「認定」した科目

⑤その他、本学が 「認定」 した全ての科目

（５）ＧＰＡ制度およびｆ-GPA 制度の活用

本学では GPA 制度およびｆ-GPA 制度を次のとおり活用する。

(1)	学生本人が成績、履修状況を把握し、学修を向上させる資料として ・成績開示期間に限り通算および年度学期別の GPA 値を Campus Plan で確認可能
(2)	学生指導を行ううえでの教育、成績、履修指導上の指標として ・２学期連続して GPA が 1.5 未満で、かつ累積 GPA が 1.5 未満の学生に対し、退学勧告を行うことがある。ただし、退学勧告は、学生が学習意欲を持ち、主体的に学習するよう、繰り返し注意や指導を行ったにもかかわらず成績向上や学業への取り組み姿勢の改善が見られない場合に行うものであり、退学を強要・強制するものではない。
(3)	授業料免除のための一基準として ・特待奨学生の奨学金給付停止または給付停止解除の判断基準として活用する。
(4)	奨学金貸与者選考のための一基準として ・各種奨学金のうち、学校推薦が必要な奨学金の学内推薦を決定する判断基準の一つとして活用する。
(5)	履修者を選抜する必要がある科目の一基準として ・履修者を制限している科目について、履修者を選抜するための一基準として活用する場合がある。

(6)GPA制度の通知

成績証明書に記載される。

学期ごとに公開される成績結果に記載される。

(7)その他注意事項

本学のGPA制度では、履修登録を行ったすべての科目がGPA算出の対象となる。不可となった場合や履修を放棄した場合にもGPA計算対象として算入されるため、学科別オリエンテーションでの説明やシラバスを十分確認し、責任をもって学修計画を立案・履修登録すること。

（所定の履修登録期間内であれば履修科目の取消を各自行うことができる。）